

環境負荷軽減に向けた新たなリサイクル

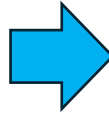
不要レシートをトイレトペーパーに再生

9 月 1 日(火)から、静岡県富士市のローソン 12 店舗で

株式会社ローソン(本社:東京都品川区、代表取締役 社長:竹増 貞信、以下「ローソン」)は、店舗から発生するごみをリサイクルする取り組みとして、コアレックス信栄株式会社(本社:静岡県富士市、以下「コアレックス社」)と連携し、2026 年 9 月 1 日(火)から静岡県富士市内のローソン 12 店舗で、お客様が不要となったレシートを回収し、トイレトペーパーへ再生する取り組みを開始いたします。回収したレシートはローソン店舗以外から集めた古紙とともにトイレトペーパーの原料として再利用され、製造したトイレトペーパーの一部は店舗のトイレで使用する予定です。



お客様向け
不要レシート回収 BOX



コアレックス社回収用
レシート回収段ボール

購入金額がさほど高額ではないコンビニストアにおいては、多くのお客様がレシートをお持ち帰りにならないケースが多く、全国のローソンでは年間約 20 万kgのレシート紙が廃棄となっています。

ローソンでは、紙のリサイクルの観点から、2024 年 12 月と 2025 年の 4 月に東京都内の 3 店舗でレシートをトイレトペーパーに再生する実証実験を行いました。約 6 割のお客様が不要レシート回収 BOX を利用しており、実験を行った店舗で働く従業員からは「捨てていたレシートがトイレトペーパーに生まれ変わるの嬉しい」という声がありました。実証実験において店舗側、お客様双方に不具合がなかったことから、今回静岡県富士市の 12 店舗で、不要レシートをトイレトペーパーに再生する取り組みを本格導入することとなりました。

回収用段ボールは月に 1 回の頻度で回収され 1 箱(約 7 kg)につき、30m 巻きのダブルタイプのトイレトペーパー 1 ロールが店舗に返却されます。本取り組み店舗では 1 店舗あたり月間 2 箱分のレシートの回収を見込んでおり、これは実施期間の半年間で約 80 kg のリサイクルに繋がります。回収されたレシートは、ローソン店舗以外から集められた古紙と合わせ、月間約 70 ロールのトイレトペーパーが再生されます。

ローソンでは 2006 年から店舗で発生する廃油や弁当などの廃棄される商品のリサイクルを一部の店舗で実施するなど、店舗から発生するごみのリサイクルに取り組んでいます。紙のリサイクルは個人情報への配慮に加え、レシートに使用される感熱紙が一般的な古紙リサイクルでは再利用が難しいなど課題がありましたが、今回コアレックス社独自の再資源化技術により実現可能となりました。

ローソンでは今後も持続可能な社会の実現に向け、地球環境に配慮した取り組みを推進してまいります。

LAWSON × 地球にいいこと。 COARELEX

レシートをリサイクルして

環境保全に取り組んでいます。

もったいない!

ローソンは
コアレックスと共に、
紙資源を
有効活用しています。



コアレックス
公式キャラクター
コアラ®

